

児童・生徒の現状・課題

- ・提示された課題に対して落ち着いて取り組むことはできる反面、主体性が希薄である。
- ・自分の考えを書き表す際、表現力・創造力が乏しい。

**学び続ける力を育むための重点目標**

○児童自ら、自分自身の学びを進めていくという意識を高め、他者とのかわりの中で、学びを得ることができるよう選択の場面、対話の共有を取り入れる。

**具体的な手だて①**

意欲をもって課題に取り組むことができるよう、見通しをもたせる導入の工夫を取り入れる。

具体的な手だて②

自分自身の学びを進めていくために、学習形態・教具等を選択する機会を増やしていく。

具体的な手だて③

ペアワーク・トリオワークなどを工夫し、自分自身の考えを他者に表現できるようにする。

**児童生徒調査**

肯定的回答の割合(%)	昨年度	目標(5月)	結果(1月)
①自分から進んで計画を立てて学習している。	81.2	85.0	
②学習をしてもできるようにならないときは、学習の方法を工夫している。	85.3	88.0	

教員調査

肯定的回答の割合(%)	昨年度	目標(5月)	結果(1月)
①授業では、学習課題や学習過程等、児童が学び方を選択する場面を設定している。	90.0	95.0	
②授業では、児童が選択した学びを相互で共有したり、見直し・修正したりする場面を設定している。	90.0	95.0	

校内で共有し、授業改革を日常化するための工夫

- ・協議会の内容等をスプレッドシートに入力し、共有していく。
- ・研究アンケートに計画的に取り組み、結果を授業に取り入れていく。

総括(5月)

落ち着いて授業を受ける児童が多いが、分からない問題に粘り強く取り組んだり、自分から進んで学び方を考えたりする児童は少なく、自発的な活動ができていないのではないかと教員から意見が出た。自分の考えを伝えたいという気持ちを授業の中で大切にし、互いの考えを認め合って欲しいという考えから主題を決定した。低・中・高・専科ことばのブロックで手立てを考え、普段の授業展開を充実させていく。

総括(1月)